

平成26年度圏域別地域公聴会の概要〔浜田圏域〕

No.	圏域	大項目	中項目	項目	意見・質問の概要	公聴会時の回答の概要	公聴会後の対応状況等	担当課	意見者	開催日
27	05浜田	03_地域保健対策	06_その他	食生活改善推進協議会の組織増加について	現在、島根県において、19市町村のうち、16市町村しか協議会がありません。地域の健康づくりを担って活動している私たちには県全体に会員が必要です。特に大きな大田市は未組織、出雲市は多岐のみです。私たちの活動が5年先、10年先の健康な町を作り出します。医療費削減にもつながります。健康寿命の延伸に向けても、是非、県の方からも未加入の市町村の働きかけをお願いします。	健康寿命の延伸を目指して、健康長寿しまね推進計画や食育推進計画において、食生活改善推進員の活動を推進している。食生活改善推進協議会の未組織市町のうち、出雲市、大田市、海士町においては、市町の実情に応じた「食のボランティア」を育成・組織化し活動されている。 食育や健康づくりの推進を図るため、食生活改善推進員や食のボランティアの未組織の市町の解消は重要。また、会員の高齢化も進む中、新たな会員の育成も必要。このため、市町村が育成を実施する場合には、求めに応じて支援を行う。 今年度は、食育活動の活性化と連携や協働を目的に、圏域毎に食育に関するボランティア等の交流会などを開催し、食生活改善推進協議会の活動など相互に情報共有する予定。今後とも、各地域における積極的な御協力をお願いする。	公聴会時の回答と同じ	健康推進課	浜田市食生活改善推進協議会	8月8日
28	05浜田	05_児童・家庭施策	01_少子化対策・子育て支援	新保育制度に向けての具体的な取組みについて	県が開催しておられる「子ども子育て会議」の進行状況と検討内容についての現状をお聞かせいただきたい。	子ども・子育て支援新制度においては、幼児期の教育・保育、地域の子ども・子育て支援を総合的に推進することとしており、県においても、市町村の取組みの支援や人材確保・育成策などを盛り込んだ「支援計画」を策定する必要がある。 この計画の策定にあたっては、幅広い分野から意見を頂戴する必要があることから、昨年6月議会において「島根県子ども・子育て支援推進会議」設置条例を制定し、子どもの保護者、保育所関係者、幼稚園関係者、事業主を代表する者、労働者を代表する者、学識経験者、公募委員など、16名の委員からなる会議を昨年10月に設置した。 また、県計画には、県の「次世代育成支援行動計画」及び「ひとり親家庭等自立支援計画」の内容も盛り込み、一体的な計画にすることとしており、それぞれ部会を設置している。これらの会議において、支援策等を検討する際の資料とするために、昨年度「島根県少子化に関する意識調査」「島根県母子世帯寡婦世帯父子世帯実態調査」「島根県保育士就業支援に向けた実態調査」「島根県保育士確保に関する実態調査」を実施した。今後は、これらの調査結果を踏まえ、必要な支援策等について議論を深めることとしている。 なお、会議の内容については、会議録や資料を県のホームページに掲載しているのをご覧いただきたい。	「支援計画」の策定にあたっては、平成25年10月の会議設置以来、島根県子ども・子育て支援推進会議を8回、少子化対策指針部会を6回、ひとり親等自立支援部会を5回開催してきた。 会議では、「子どもの最善の利益」が実現される社会、「子育てするなら島根」と感じられる社会を目指すべき社会像とし、その実現に向けた施策の方向性等について議論を進めてきた。 また、子ども・子育て支援法に基づく必須記載事項である、教育・保育の提供体制の確保方策、保育等に従事する人材確保・資質の向上等についても併せて議論してきた。 この「支援計画」については、名称を「しまねっ子すくすくプラン」とし、推進会議において最終的な意見を聴取したうえで、平成26年度中に策定することとしている。	青少年家庭課	浜田市保育連盟	8月8日